

サマーミーティング2012 開催記録

■開催日時 平成24年7月23日(月) 午後2時～4時15分

■開催場所 笠間市役所 本所 大会議室

■参加者

- 生徒21人(市内各中学校代表3人×7校) 男子9人・女子12人
- 山口市長、飯島教育長 ほか

■概要説明(司会)

このサマーミーティングは、市長・教育長との意見交換を通して、中学生の視点による将来展望を市政に反映していこうと開催しているもので、今回で第4回目となります。身近な話題や疑問、笠間市の将来などについての意見交換と各校生徒の交流の場として進めていきます。

内容は2部構成とし、第1部は、事前に準備していただいた自校の自慢や改善点について発表をお願いする各校のグループ発表を、第2部は、「笠間市の未来について」をテーマにフリートークを行います。

【第1部】 グループ発表 ※発表順に掲載

1. 岩間中学校(写真スライドを使用)

(1) 自己紹介

(2) 発表: 自慢できること

- ・3年前の夏に建て替えた新しい校舎。中庭のある校舎は多くの光を取り込み、大変明るい校内。木材を主体とした内部は美しい木目。石のモニュメントや洋画、陶板など岩間もモチーフにした芸術作品が飾られている。→2年経った今でも全体的に目立った傷や汚れはほとんどなく、新しくなった当時の姿を維持できている。利用しているすべての人が岩中を大切にしているということ。
- ・スクールガードリーダーが寄贈してくれた、生徒たちを見守るシンボルであってほしいという願いが込められた獅子頭→地域の方々が見守ってくださっているということを改めて実感。
- ・これからも私たちはこんなすばらしい岩間中学校をいつまでも他校に誇れる学校として大切にしていきたい。
- ・「打倒ごみちゃん作戦デラックス」…毎週水曜日午前7時45分から行っている。生徒会の本部が企画し、生徒が自主的に学校をより良くするために行っている。以前は学校やその周辺のごみ拾いを行っていたが、最近はごみをあまり見かけなくなってきた。→ごみ拾いを第1・3週のみとし、第2週をあいさつ運動、第4週を季節に合った活動やその他の活動に変更。草取りやグリーンカーテンの水遣り。今後もさまざまな活動を行っていく予定。
- ・このような活動によって学校や周辺地域を大切にしようとする考えが広まり、この地域がより良くなればと活動を続けていく。
- ・清掃を黙動(黙って働く)で行う取り組みを始めた。一人一人の意識が高まり、清掃が早く終わるようになり、以前よりも早く授業の準備ができるようになった。

(3) 発表: これから望むこと

- ・少人数指導の授業スタイルを全学年に対応させたり、英語などでも取り組んだりしてほしい。自分のレベルに合った授業を受けることで学力を伸ばしたい。

2. 友部第二中学校(パワーポイントを使用)

(1) 自己紹介

(2) 発表: 自慢できること

- ・「二中しぐさ」…学校をより良くするための活動。3つの代表的な活動は、駐輪場で自転車をはめて置くこと、靴そろえ、水道の蛇口を下に向けること。ほかにもいろいろな二中しぐさがある。

- ・生徒会役員が毎朝行っているあいさつ運動→この活動によってほかの生徒たちもしっかりとしたあいさつができるようになった。
- ・生徒会による各学年への目安箱の設置→学校生活をより良くするための意見がたくさん書かれている。
- ・サポート委員会の活動によるテスト予想問題の作成。定期テストの前にサポート委員会がそのテストに出そうな問題をプリントにまとめてくれる。
- ・清掃活動にとっても力を入れている。どこの場所でも隅々まできれいに清掃していて、生徒一人一人が学校をきれいにしようと努力している。この清掃活動をすることによって生徒一人一人にとって自分自身をつくっている。「創自」と呼んでいる。

(3) 発表：これから望むこと

- ・休み時間と授業の気持ちの切り替えをしっかりやること。
- ・みんなの当たり前を同じくすること。

3. 友部中学校（パワーポイントを使用）

(1) 自己紹介

(2) 発表：自慢できること

- ・「学びよい学校 訪れてよい学校」を目指す。
- ・友部中の合言葉はABC「Aあたりまえのことを、Bばかにしないで、Cちゃんとやろう。」合言葉を生徒一人一人が大事にし、いろいろな活動に積極的に取り組んでいる。
- ・特に友部中の三大大行事と呼ばれている5月の校内陸上大会、9月のスポーツフェスティバル、11月の合唱祭と部活動に励んでいる。今年の総体でも各部ともいい結果を残すことができ、相撲、剣道、陸上、水泳、テニス、卓球、女子ソフトボール、バレーボールが県大会に臨む。
- ・訪れてくれる人を気持ちよく迎えるあいさつがきちんとできる→生徒会を中心としたあいさつ運動、地域の方とのあいさつ運動、部活動のあいさつ運動などを行っている。
- ・学校が花でいっぱいである→全国花壇コンクールで内閣総理大臣賞を受賞。

(3) 発表：これから望むこと

- ・交通の安全への意識が低い人が見られるので、一人一人の意識をもっと高めていきたい。→特に気をつけたい点は、ヘルメットをかぶること、一時停止を必ず行うこと、併進をしないようにすること、反射たすきをかけること。社会や地域の一員として責任をもって行動できる友中生になりたい。
- ・今年度は合言葉にDEFの合言葉を作る。「Dできることを、Eいっぱい、F増やそう。」
- ・「Aあたりまえのことを、Bばかにしないで、Cちゃんとやる。そして、Dできることを、Eいっぱい、F増やそう。」この合言葉の下みんな意識して、学びよい学校、訪れてよい学校としてのレベルアップを図っていく。

4. 稲田中学校（パワーポイントを使用）

(1) 自己紹介

(2) 発表：自慢できること

- ・幼稚園と小学校が近い。→3年生が幼稚園に行って園児と触れ合う活動がある。
- ・稲田中学校は人数が少なく、1年生、2年生が1クラス、3年生が2クラスと4クラスしかないが長所でもある。いろいろな生徒と委員会や部活動で知り合え、全校生徒の顔と名前が覚えられ、部活動では、先輩後輩が仲良く部活に励んでいる。
- ・一人一人がしっかりとあいさつができる。あいさつ運動を行っている。これからさらに大きな声であいさつができるようにしていきたい。
- ・1・3運動というボランティア活動…毎週水曜日の朝、道路にある空き缶やごみなどを拾いながら登校する。昔は道徳の教材として扱われていた。活動のきっかけとなったのは、一日一個ずつごみを拾えば、三日で三個のごみが拾えるという発想。これからもっとごみを減らせるように努力をしていきたい。

- ・笠間市に一つしかない部活動、弓道部。決して大きな部活動ではないが、今年の総合体育大会では、現時点で県大会まで勝ち進んでいる。茨城県内でも強豪。
- ・笠間市英語インタラクティブフォーラムでは、稲田中学校からは3名の生徒が次の水戸地区大会に進んだ。
- ・吹奏楽部は、水戸地区大会で優秀賞。県大会に向け練習中。

(3) 発表：これから望むこと

- ・自転車小屋の整備を提案。例として、自転車小屋の屋根から針金のようなものが出ていて、通るときがとても危険。また、段差が多くあり、自転車で通るときなど大変危険。
- ・理科の実験器具を増やしてほしい。1年生と2年生は1クラス30人から40人ほどだが、班の一つ一つ実験器具が行き渡らず2班に分けることや他中から実験器具を借りてくることがある。
- ・学校にプールを設置してほしい。体育館をつくり直すときにプールの上に建ててしまったので、稲田中学校にはプールがない。プール学習のときは近くの稲田小学校まで歩いていかなければならない。時間割も小学校と相談して決めなければならず、授業の変更がかなり多い。

5. 南中学校（パワーポイントを使用）

(1) 自己紹介

(2) 発表：自慢できること

- ・学校の周りには豊かな自然がたくさんある。校舎から見える景色は世界一。
- ・大きなうさぎのような学校のシンボルとも言える時計塔。
- ・校舎のデザインは斬新で、温かみがある。
- ・学校の生徒数は91名でほかの学校に比べてとても少ないが、すべての生徒の顔、名前、性格がわかる→生徒数が少ないからこそ。
- ・全生徒が仲良く、団結力が強いので、行事はとても盛り上がる。南中ソーラン、合唱コンクール、3年生を送る会、クラスマッチなど。
- ・特に心に残っているのは金環日食の観察会。学校で一人一人に観察用メガネを用意してくれ、生徒全員が一人一人観察することができた。電子黒板には太陽の様子がリアルタイムで映され感動した。
- ・学校を花でいっぱいにするための一人1プランター活動。
- ・南小学校との連携活動…小学生が中学校に来て選択の授業に参加する交流事業、小中合同あいさつ運動。

(2) 発表：これから望むこと

- ・改善点は4つ。
- ・時計塔の文字盤の修理。12時を示す文字盤が曲がっている。立派な時計塔で、遠くからでもよく見えるので、一日も早く文字盤を直してほしい。
- ・テニスコートの有効活用。グラウンドのそばにあるが、地面はグラウンドよりかなり低く閉鎖的な場所なので、簡単にグラウンドにはならない。また雑木の根や椅子などがあり、耕すことも容易ではない。これだけの敷地を放っておくのはもったいない。市の力を借りてうまく活用したい。
- ・他の中学校との交流の機会を増やすこと。南中は生徒数が少ない学校なので、どうしても競争する経験が少なくなりがち。他の中学校と交流を持って競争意識を持っていろいろなことを学べる機会を持ちたい。
- ・南中の存続のお願い。大規模校に合併するだけでなく、存続させることも考えてほしい。

6. 東中学校（模造紙を使用）

(1) 自己紹介

(2) 発表：自慢できること

- ・遠くにいる人にでも自分から進んであいさつできる人が多い。地域の人からあいさつがい

いと電話が来ることがある。

- ・地域とのかかわりが深い。体育祭では、生徒と共に保護者の方々が準備、審判など係り活動を手伝ってくれ、協議をスムーズに進めることができる。文化祭では保護者を含めて地域の方々が昼食を作り、カレーライスややきそば、すいとん、から揚げ、きゅうりの一本漬けなどの屋台を行う。
- ・小さい学校ならではの奉仕活動である校内クリーン作戦。中学校の4つの地区ごとに、6月と12月の年に2回、授業の時間を使って、地域ごとに通学路等のごみ拾いを行っている。一人一人がごみのポイ捨てをしないという意識を持てば、笠間市がさらにきれいになる。
- ・通学は生徒数が少ないため、一斉に下校している。先生や保護者の方が週に2回自転車であつて来てくれるので、安心して下校することができる。
- ・給食の牛乳の残量調査で、残量が0%。給食委員会を通して呼びかけを行っている。

(3) 発表：これから望むこと

- ・通学路に街灯が少なく、日が短くなったときに危ない。安全に下校するためにも明るい道路だとありがたい。
- ・道幅が狭い上に車の通りが激しいので、休工中の工事が早く再開されるとより安全な通学路になるのではないかと。
- ・プールがあるが現在は使えない。水泳学習は決まった曜日の午後5・6時間めを使って、東小学校のプールに全員が自転車で移動している。移動には往復で30分かかる。東中学校のプールが使えると学習できる時間も増え、移動での体力消耗も防げる。
- ・積極性・向上心を一人一人が持つ。全校生徒が55名と人数が少ない分、一人当たりのクラスの役割が多い。一方で学校行事などは決まったメンバーで行っている傾向にあり、自主性に欠ける面が見られる。役割だけで満足するのではなく、一人一人が自分たちで作り上げるという意識を持つとさらによくなると思う。

7. 笠間中学校（写真スライドを使用）

(1) 自己紹介

(2) 発表：自慢できること・これから望むこと

- ・創立64年を迎える歴史と伝統をもつ学校。
- ・学校マスコットキャラクター「笠CHU（かさちゅう）」。3年前生徒会の呼びかけにより、この笠CHUに決定、今では笠間中学校のシンボルとして活躍。美術の時間にオリジナル笠CHUを作るなど、私たち生徒から親しまれている。
- ・中学校は高台にあるため、佐白山や仏頂山など四季折々の美しい山並みが一望できる。ウォーキングゾーンという坂から見えるオレンジ色の夕日もとてもきれい。周囲を佐白山や森に囲まれた笠間中学校は本当に自然に恵まれている。
- ・全校生徒による取り組み「笠中しぐさ」…4年前に生徒会が中心となり、江戸しぐさを参考に作られた。お互いが生活を心地よく送るためにさりげない行い、さりげない気遣いとして、物そろえ、気持ちのよいあいさつ、右歩み、思いやり言葉の4つを取り上げている。
- ・11の委員会があり、それぞれに一生懸命取り組んでいる。
- ・笠間中学校がよくなるキーワードは「活気」。生徒一人一人が学校生活に自主的に取り組むようになれば学校がさらに明るく元気になってくる。笑顔あふれる元気な笠間中学校を目指してこれからもがんばって取り組んでいきたい。

■第一部感想発表

○岩間中の代表者

笠間中学校の笠中しぐさの物そろえで、机や自転車やスリッパがとてもきれいにそろっていて、岩間中学校でもまねをしたいと思います。

○友部二中の代表者

自分の学校に無い良い点のほかの学校にあったので、それを次から生かしていきたいです。

○友部中の代表者

ほかの中学校には、友部中には無いことがあったので、友部中にも取り入れたいです。

○稲田中の代表者

どこの中学校もゆっくりと読んでいて大きな声で聞きやすかったです。稲田中学校もたくさん良い点がありますが、ほかの中学校も良い点がたくさんあったので、それらを取り入れてさらにいい中学校にしていきたいです。

○南中の代表者

友部中のキャッチフレーズのABCは南中にも取り入れたいです。

○東中の代表者

東中学校はとても小さな学校なので、大きな中学校のよい点をどんどん取り入れて、もっとよい中学校づくりをしたいです。

○笠間中の代表者

どの中学校にもよい点がたくさんあって、本校にも取り入れたいと勉強になりました。

○教育長

それぞれの学校がそれぞれの活動をして魅力ある学校にしてくれていると思いました。楽しい学校、素敵な学校にするというのは、教育委員会や先生方も大事ですが、皆さんが自分たちでつくっていくという責任があります。今日、それぞれの学校の良い点がいっぱい聞けたので、自分たちの学校で一つでも生かして、さらに楽しく過ごしやすくしてほしいと思います。それから、いろいろな要望がありました。交通安全の意識を高める、向上心をもつなど自分たちで取り組んでいく改善点もありました。また、理科の実験器具が足りない、プールがほしい、自転車置き場が危ないなど教育委員会が改善しなければならないものもありました。お金のかかることなのでできるだけ優先順位をつけて学校と相談しながら対応させていただきたいと思っています。

プールについてですが、中学校のプールは1学期中に終わってしまうので、中学校でプールの授業を開設できる日数は非常に少ないです。プールは大変な維持費がかかります。教育委員会では、小学校で自分の命を守る最低限の泳ぎを覚えるように指導をし、中学校では大変でも小学校のプールを借りて、必要な泳ぎを覚えるというように考えています。これから先いろいろなふうに学校が変わっていくと思いますが、プールの新設はしないと考えています。まだまだ、こうしてほしいと思うことがあるかもしれませんが、先生や生徒会などと相談して意見を出していただいて、教育委員会で伺いたいと思います。

○市長

あいさつ運動、花いっぱい運動、清掃活動をしっかりやるなど、それぞれの学校で独自のテーマをつくって、取り組んでいると強く感じました。ただ、学校だけではなく、家でも地域でも同じような心構えを持ってやってほしいと思います。それから他の学校での取り組みが改めてわかったと思います。良い点はまねてもいいと思いますが、ただまねるのではなくそこに何かプラスアルファをして、もっと良いものをつくっていくように心がけていただきたいと思います。

【第2部】フリートーク（笠間市の未来について）

■笠間市総合計画の説明（企画政策課職員）

■フリートーク

意見1

北茨城市で作成した情報誌「るるぶ」を笠間市でも震災の復興のために発行してはどうですか。

回答1（市長）

笠間市も同じですが、北茨城市は震災があって観光に訪れる人が非常に少なくなってしまったので、観光PRをしていくために専門誌「るるぶ」北茨城特集をつくったと聞いています。北茨城のすべてがわかりますし、「るるぶ」という有名な雑誌に視点をあててつくられたというのは非常におもしろいと思います。観光情報の伝え方はいろいろな手段があると思うのですが、「るるぶ」を使うのはいいことだと思います。笠間市も話をいただいています。まだどうするかは決まっています。

意見2

笠間市の観光について、私たち中学生はあまり知らないと思います。どちらかという若い人というよりは高齢者や30代、40代の人が多いと思います。観光の内容はとていいので、中学生の私たちに向けて宣伝・アピールの仕方を変えてはどうですか。

回答2（市長）

そのとおりだと思います。笠間の観光というのは、たとえば笠間稲荷神社や陶芸美術館、日動美術館、芸術の森公園、北山公園、愛宕山など、どちらかという若い人より一定の年齢以上の人が多いというのはそのとおりです。笠間で一番子どもたちが来ている場所はどこか知っていますか。年間10万人以上の子どもたちが遊びに来ています。笠間芸術の森公園のあそびの杜です。また、「恋人の聖地」を知っていますか。笠間市は恋人の聖地の100番めに選ばれました。全国に恋人の聖地という指定があって、その指定をする委員会があります。笠間市も指定をされ、芸術の森公園にモニュメントがあり、北山公園や愛宕山にもサブモニュメントがあり、若い人を笠間市に呼ぼうと取り組んでいます。

意見3

笠間西インターのあたりにもう少し商店があったら活性化するのではないかと思います。

回答3（市長）

そのとおりです。県営住宅と市営住宅の隣に土地が空いていて、何かつくりたいと思っているのですが、民間の事業者にこういう土地があいているので、ぜひここに来て何かやってみませんか。声をかけていますが、なかなか見つからない状況です。これからも見つけるように一生懸命がんばっていきます。

意見4

私は毎日いなり通りを歩いて学校に行っています。シャッター通りにしないためにどういう対策をしているのか知りたいです。

回答4（市長）

いなり通りというのは笠間稲荷神社の前の通りですか。現在市に、通りのシャッターが閉まっている店が多くなってしまった理由の一つは去年の震災です。井筒屋という旅館がありましたが、震災で壊れてやめてしまいました。山の荘という大きなホテルも壊れてやめてしまいました。現在市では、稲荷神社の前の通りを元気にしていくために、歩く人を優先的に考え、人に優しい通りにしようとして地元の人と話し合っていて、歩道をもっと広げて、観光に来た方々もゆっくり歩けるようにしていこうと進めています。そういう対策を取りながら、井筒屋を市が買ったので、壊れているところを直して、またホテル業をやってくれる民間の事業者を募りながら、周辺を元気にしていこうと取り組んでいます。がんばりますので、もう少し待っていてください。

意見5

東日本大震災のときの道路復旧工事が早く終わって、とても安心して暮らせるまちだと思います。観光客避難誘導體制の確立に向けて、外国人観光客のために英語をはじめとした外国語を話せる職員は配置されていますか。その場合は、どの言語を話せるのか、普段は何をしているのか知りたいです。

回答5（市長）

現在、笠間市役所には消防士も含めて約720人の職員がいます。外国語専門の職員というのは1人もいませんが、英語を話せる職員は何人かいます。英語を専門的に仕事の中で使うような状況はまだありませんので、使っていないと忘れてしまうということがあります。観光客用には、英語と中国語と韓国語の簡単なパンフレットは用意してあります。このような時代なので、英語で専門用語を使ってきちんと話せるような職員も必要だと思っています。若い職員が勉強をして英語をきちんと話せるようになることも必要だと思います。市長として外国の方が多き場所に行ったとき英語が話せればいいなと思うことがあります。若い皆さんはこれから勉強に励んでください。

意見6

笠間市では、車がないと移動しづらいと思いますが、相乗りタクシー以外で何か考えはありますか。

回答6（市長）

大都市にはバスや電車などがあり、車がなくても生活ができますが、地方や小さい都市は、鉄道もバスも運行本数が少ないので、日常生活の移動は車に頼っているのが現状だと思います。笠間市でも水戸線や常磐線などを使っている方もいますが、車が日常生活の中心です。一方、高齢のため運転ができない方も増えています。市では、電話をすれば迎えにきてくれて、目的地まで連れて行ってくれるデマンドタクシーというものをやっています。それから、民間のバスを維持するために、市で補助金をバスの運行会社に出して、バスを運行してもらっている路線があります。今年6月から、笠間地区から秋葉原までの直通の高速バスがスタートしました。地域の高齢者がこれからどんどん増えてくる中で、高齢者の足の確保をどうやって充実させていくかが、課題の一つになっています。

意見7

岩間第二小学校の上押辺地区にある「ふじやま運動公園」では高齢者が集まってみんなでゲートボールをしているため、小さな子たちが遊べないという状況です。それを解決してもらえないですか。

回答7（市長）

ふじやま運動公園ですが、ゲートボールをしている地域の高齢者の方がきれいに管理をしています。今度市長として地区の方に「子どもたちが使いたいといっていたからそういったときは貸してあげて」と伝えておきます。

意見8

通学路に砂利道や凹凸がある道が岩間地区では多く、以前自転車で砂利道を通っているときに転びかけたことがありました。大きなことにならなくてよかったのですが、このような被害が広まらないように道路を整備してほしいです。

回答8（市長）

通学路の砂利の舗装は、現在の笠間市では、幅が4m以下の道路は4mより道を広くしないと舗装しないことになっています。なぜかというとい定の広さがないと、たとえば救急車などが入っていきなくなってしまいますからです。昔は4m以下のところでも舗装してあるところはあります。そこが壊れれば補修しています。いろいろなまちづくりをする上で、狭い道路は広げ、使いやすように舗装をしていくというのが必要です。

意見9

私は学校から家まで6キロとかなり遠く、冬など夜が暗い時期は街灯がなくてとても怖いですが、街灯を増やしてもらえないですか。

回答9（市長）

防犯灯については、学校の先生に詳しい場所を言ってください。先生の方から教育委員会に伝えてください。防犯灯は笠間市が設置する防犯灯と地域の地域・区が補助金をもらって設置する場合と二通りあります。いずれにせよ詳しい場所を知らせてください。

意見10

笠間市は道路が狭いところが多くて、自転車で走っていると車と近くて危ないと感じることが

あります。もっと歩道を作ったり道路を広くしたりすることはできないですか。

回答 10 (市長)

狭い道路などは、区長さんから要望も出ています。道を広げる場合には土地の所有者の協力がないと広がりませんので、市では説明やお願いをして、狭い道路をなるべく広げるような取り組みをしています。ただ、狭いところを広げるといことは、沿道の人々の理解をもらわないといけないので本当に大変なことです。

意見 11

街灯がついていると明るいですが、先生から街灯は稲の生長に影響するときにいたことがあります。その配慮はどうなっていますか。

回答 11 (市長)

街灯も防犯灯も稲の生長にはかかわり合いがあります。市で付ける場合、その下に田んぼがあった場合には田んぼの土地を持っていて稲をつくっている方にお話をし、了解をもらって付けるようにしています。

意見 12

震災の影響で使えなくなってしまった市民体育館はどうなっていますか。

回答 12 (市長)

体育館は来年の3月までには修理できます。もう少し待ってください。

意見 13

何年後に人数の少ない小学校や中学校が統合になるという話があると思います。今でも遠くから来ている生徒がいます。そういう生徒がいると部活動もなかなかできなくなってしまうと思います。そういう対策はどのようなものがありますか。

意見 14

南中学校が統合されるという話も出ていると聞いています。小学校や中学校では、教育にお金をかけて笠間市を大切にしてくれる人を育てることが大切だと思います。

回答 13・14 (教育長)

市では、少子化で小さな小中学校ができていますが、少し大きな学校で子どもたちを育てた方が、社会性などが豊かになるのではないかと、学校の適正配置ということで動いています。5月から今月まで各小学校区でその説明をしてきました。その中で、遠い学校にどのように通ったらいいのか、安全性はどのように確保したらいいのかなど意見をたくさんいただきました。市は学区審議会が1年以上かけて話し合った答申をどのように実施していったらいいのか、これから実施計画を策定していきます。遠くから通学するにはやはりバスなどを計画していかなければならないと考えています。中学生は自転車もありますが、遠いところはバスも考えていかなければならないと思っています。これからそういう計画を立てて、再度該当の学校や地域の皆さんと話し合っ、具体的な話を決めていきます。先ほど南中学校から小さくても学校を残してほしいという話がありましたが、そういう願いを持っている方はたくさんいると思います。笠間市の中学校の統合の基準は、一つの中学校で、全学年で1クラスになって、それ以降もその状態が続くと判断される場合に統合の準備を始めるということになっています。皆さんの後輩たちが充実した学校生活を送れるように教育委員会も地域の皆さんと協力していきたいと思っています。

意見 15

年に1度子どもの体力を測る体力テストがあります。新聞などで子どもの体力が下がっているという記事を見たことがあります。月に1度、半年に1度体力テストを行い、体をきたえたほうがいいと思います。

回答 15 (教育長)

若いうちに元気な体をつくっていくということで、全国的に体力テストを行っています。小学校から日常的な活動で体力をつけていこうとか笠間市では努力していますが、皆さんにお願いですが、走るときには1分間に心拍数が120くらい上がるようにして、自分で自分の体力をつけるように努力してほしいと思います。学校の先生方に皆さんにもう少し体力がつくように体育の運動量をもっと増やすようお願いをしていきたいと思っています。

意見 16

震災で芸術の森公園の入り口の手前にある笠間焼の大花瓶が壊れてしまいましたが、新たに作品を作る予定はありますか。

回答 16 (市長)

笠間焼の大花瓶ですが、芸術の森公園の近くと岩間の355号バイパスと北関東自動車の笠間パーキングエリアの3ヶ所に、今は亡き福田さんという方が、焼き物で作った7、8mの大花瓶を市に寄付をされました。ところが震災で3ヶ所とも壊れてしまいました。跡を継いだ息子さんから、残っていたうちの1本をまた寄付していただき、数日前に岩間地区に付けました。芸術の森公園の近くにもまた寄付していただければ付けていきたいと思います。作るのはなかなか大変であるので、どうなるかわかりません。岩間地区には付いたので、今度近くを通ったときに見てください。

意見 17

笠間市には体育館があってバスケットボール、バレー、卓球などができ、プールなどもあり水泳ができて、野球グラウンドやサッカーグラウンドもありますが、陸上のトラックがないのでほしいです。

回答 17 (市長)

陸上トラックは、今のところ笠間市の計画にはありません。学校の運動場などでがんばって練習してください。

意見 18

稲田中も人数が少ないので、統合の話を詳しく教えてください。

回答 18 (教育長)

もう一度統合の基準をお話しますと、一つの中学校で、全学年で1クラスになって、それ以降もその状態が何年か続くと判断される場合に検討を始めますということです。稲田中学校は今の稲田小学校の児童数を見ていくと対象外です。

意見 19

東日本大震災で道路にひびや穴が開いてしまったところがありますが、小さいひびや穴は直してもらえないのですか。

回答 19 (市長)

道路の被害で大きくひび割れした、大きく段差ができたところはほぼ直したと思います。微妙に沈んでいるようなところはまだまだたくさんあると思います。それは何年かかけて直していかなければならないと思っています。道路は30年、40年をかけてつくってきたので、1年か2年で全部直すということはなかなかできません。車の運転をしている人、自転車に乗っている人、歩いている人に小さな段差はあるものと思ってもらうことをお願いしていて、つまづかないようにしていただきたいと思います。

意見 20

南中の学区が狭いと思います。学区の基準はどうやって決めているのですか。

回答 20 (教育長)

学区の基準はどうきまるのかということですが、歴史的な経緯でできてきています。明治時代に学校ができてから、市町村の合併などで、その中にある学校も統合されてきました。そのときそのときの地元の話し合いで決められてきて、今の学区になっています。

意見 21

笠間市では東日本大震災でどのような被害が多かったのですか。

回答 21 (市長)

震災の被害の一番大きかったのは笠間支所で、使えなくなって取り壊しました。ほかに笠間市民体育館、友部地区では公民館の体育室、ゆかいふれあいセンターも使えなくなっています。いずれも平成24年度中には直す予定です。下水道、水道、個人の住宅で一部損壊も含めて市内で7500軒くらいの被害がありました。

意見 2 2

「エコフロンティアかさま」で石巻の震災がれきを受け入れると聞きましたが、放射能の問題は大丈夫ですか。また、どれくらいの量のがれきを受け入れるのですか。

回答 2 2 (市長)

エコフロンティアかさまへのがれき受け入れですが、7月19日に石巻から試験的に焼却をするためトラック3台分のがれきの持ち込みをしました。茨城県で決めている放射線の基準に照らして異常がないということで、本格的な受け入れを8月末か9月に行っていきます。最終的には茨城県全体で10万トン受け入れる予定です。放射線の問題は心配ないです。

■講評 教育長

皆さんの意見でこれから私たちもやらなければならないなと思うことがたくさんありました。一つだけお願いがあります。若い人は自分たちのまちを知らないという意見がありました。総合的な時間の中で恋人の聖地を全国にPRするためにどうしたらいいかなど、みんなで話し合っ
てまとめて、市長に提案してもらおうといいと思いました。もう一つは、将来外国に行く方もたくさんいるかもしれません。そのとき必ず「あなたの出身の笠間はどこなところですか。」と聞かれます。これから大事なのは笠間の良さをしっかり勉強しておくことです。学校でそういうことが勉強できるような環境をつくるお手伝いをこれからしていきたいと思います。今日はありがとうございました。

市長

皆さんからそれぞれ意見をいただきました。いろいろな思いをもって学校生活を送ったり、部活をしたり、登下校をしたりしているんだなと強く感じました。皆さんは今14歳。皆さんが働き盛りになる20年後30年後、日本はどうなっているでしょう。テレビの画面で仕事が全部できるようになっているかもしれない。日本で働いている半分以上が外国人になっているかもしれない。皆さんの半分以上が外国に行っているかもしれない。どんな時代になるか想定ができません。そういう時代にしっかり自立して生きていくためには知識を身に付けることです。いろいろな知識を吸収することでいろいろな広がりが出てくると思います。これからもがんばっていただきたいです。